

小菅新市長の初議会

温浴施設等の値上げ案、次々

12月議会が4日から始まりまし
た。小菅市長が初めて市議会に出席
し、提案理由の説明、総括質疑の答弁
を行いました。

市長は提案理由の説明の冒頭、「所
信の一端」として、「信頼と誠実」を
旨とし、「市民一人ひとりに寄り添い
ながら、安心して心豊かに暮らせるま
ちづくりを推進していく」などのべ
ました。議会に対しては、「政策を中
心とした、健全で活発な議論を重ねて
まいりたい」とのべました。これらの
言葉は、いろんな場面で使われること
になるでしょう。左のイラストは提案
理由をのべている小菅市長です。

「来年度は緊急性や実効
性などを総合的に考慮して定める」
「来年度の当初予算案に織り込むと
もに、来年度策定予定の第7次総合計
画後期基本計画で施策や成果指標など
を整理して市議会や市民に示す」「今
後も地域に向き、直接会って意見や
提案を聞く」などと答弁しました。

17施設の使用料引き上げ 案が出され、審査

今定例会では、市立水族博物館、旧
ピットバレイスキー場、くるみ家族
園、吉川ゆったりりの郷など17施設で
使用料などの見直しを内容とする条例
の一部改正議案が提案されました。い
ずれも、「近年のエネルギー価格高騰
等の影響を受け、運営にかかわる維持
管理経費が増加している」ことを理由
に、利用料金の上限額を引き上げるこ
とが内容です。



【イチゴ】バラ科の多年草。漢字で「苺」と書きます。ハウスの普及により、今でこそいつでも食べられるようになりましたが、私が子どもの頃は露地栽培のみで、春から初夏にかけて収穫されていました。実がいつ赤くなるかと楽しみにしていたものです。花期は4月から5月。花言葉は「幸福な家庭」「先見の明」。8日に友人の家で撮影しました。

「協議は年度内に終わりたい」とのべ
たのです。今後の動きを注視してい
ます。

このうち、厚生常任委員会審査で
は、浴場利用料金を個人で、一般が4
20円から600円に。小・中学生が
210円から300円に上限額を引き
上げる（団体は別料金）くるみ家族
園の条例改正について、日本共産議
員団の平良木議員が、「今議会では多
くの施設での引き上げ案が議論され
てきたが、ここは福祉課の管轄で、福祉
施設の1つであり、重要な施設だ。ま
た、ここは廃熱利用だ。他の施設との
違い（を意識して）議論してきたの
か」「指定管理料のとセットで提案し
ないとおかしいのではないか」などと
質問しました。

これに対して、担当課長は、「（ご
み焼却の廃熱利用だけでなく）灯油
も使っているなかで、施設として維持
していくには引き上げが必要だ。指定
管理料については値上げ後、様子を見
ながら検討していきたい」と答えてい
ました。この議案には平良木議員は反
対しました。

私の一般質問は16日

一般質問は11日から始まっていま
す。今議会の質問者は27人です。
私は16日の午後に登壇する予定で
す。質問テーマは県立松代病院と柿崎
病院についてと市民の消火栓使用につ
いてです。傍聴にぜひおいで下さい。
インターネット中継もされます。



「消費用井戸水活用のための配管工事
など今夏の渇水対策に要した経費の一
部について、県に負担を求めないの
か」などと質疑を行いました。
市長は、「優先順位は緊急性や実効
性などを総合的に考慮して定める」
「来年度の当初予算案に織り込むと
もに、来年度策定予定の第7次総合計
画後期基本計画で施策や成果指標など
を整理して市議会や市民に示す」「今
後も地域に向き、直接会って意見や
提案を聞く」などと答弁しました。

はしづめ法一の 活動レポート

No.2231 2025.12.14
発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3627
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp
URL <https://www.hose1.jp/>

ブログ
「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一 検索

春よ来い

第八七八回 夕焼け(2)

遊ランドのお風呂から夕陽、夕焼けを撮りたい。ずっとそう思っていたのですが、ようやくその願いが叶いました。

十二月の第一土曜日のことです。道路脇の積雪が少しずつ多くなっていくのを見ながら、尾神岳のふもとの(スカイトピア)遊ランドに着いたのは午後四時半過ぎだったと思います。すでに日は沈んでいますが、遠くの日本海は赤く染まっています。これなら、お風呂で夕焼けが撮れそうです。その思い、浴室に向かいました。

入浴中のお客さんはなく、私は衣服を脱ぐと、スマートフォンを持ってお風呂に入りました。夕焼けは窓の左側の方が濃い赤になっていましたので、その窓際まで行って撮影しました。外で撮るのは違って、鮮明な撮影にはなりませんでしたが、「お風呂から撮る」という長年の思いが叶いましたので、何となく得した気分でした。

撮影が終わってから、いったん着替え場に戻って、スマートフォンをしまい、再び浴室に行きました。洗い場で、ゆつくりと体全体をゴシゴシやりました。あとはお湯につかり、暮れゆく景色を楽しみました。湯につかって二分ほど経った頃だったでしょうか。坊主頭の男性が浴室に入ってきました。

びっくりしましたね。その男性は親戚のHさんだったのです。Hさんとは同じ吉川区に住んでいるながら、なかなか会うことはありません。遊ランドの浴室で一緒になったのはおそろしく初めてです。

遅れて入ってきたHさんが洗い場から浴槽に移動してからは、二人で立って夕焼けを眺めながら、いろいろと話をしました。

「夕日が沈む場所は、どんだん左の方に行くよね」と私が言うと、Hさんも頷きながら、「もう少し、暗くなると、発電所の煙突にある灯りが見えるんだわ」と言って浴室から見える魅力的な風景のワンシーンを

教えてくれました。

浴槽につかってからも二人の話は続きました。Hさんのところには昔、横井戸、まだあったことを思い出し、「横井戸、まだ使っていなければ、水道の水もいらんじやないの」と言うつと、「いまはもう使っていないくて、水道水にしている」と言われました。そりゃ、そうですよ。私が知っているのは、もう三十年くらい前のことですから。

昔と同じように使っているものと言えば、行火(あんか)の話も出ました。Hさんのところでは、いまも豆炭行火を使っているとのことでした。「あれは、暖かいよね」と言ったら、「二十四時間、暖かいんだわ。布団自体もよく温まるし……」という言葉が返ってきました。

Hさんは若づくりなので、私よりも二、三歳若いと思って、「歳は七〇、超えなっただかね」と尋ねたところ、なんと私よりも二つも年上で七七歳だとか。これにも驚きました。

それだけではありません。週に何度かは大湯区で仕事をしているというのです。それもある、仕事が終わって、夕方の六時前に遊ランドに来られるときはお風呂に入っているところでした。

お風呂で知っている人と会うと、どうしても湯につかる時間はいつもよりも長くなります。この日、お風呂から上がった時間が経っても体はポツポツといて気持ちいい状態が続きました。

浴室から廊下に出たとき、窓からはまだ赤い景色が見えました。それもお風呂で見ただけに濃厚な赤です。Hさんから教えてもらった煙突の風景は確認できませんでしたが、頸城平野北部の田んぼや湖沼がいい色になっていました。そして、その奥は日本海です。ふるさとを語ることなし。作家、坂口安吾の言葉を思い出しました。

縄文から現代を考える…佐藤雅一さんが講演

吉川コミュニティプラザで7日に行われた講演会(いのちの応援田主催)に参加してきました。講師は考古学者の佐藤雅一さんの講演は「生と性、そして聖」というタイトルで、縄文時代の土偶・石棒などを通して当時の性生活、文化などをさぐるとともに、現代をどう生きていこうかを考える内容でした。

1時間半にも及ぶ講演を聞いて改めて思ったのは、お産の大変さです。様々な土偶、土器模様などに表現されたお産の様子は、無事にお産することへの祈りを込めたものではないかと強く感じました。縄文時代に「産屋」なるものがあったことは、これまで知りませんでした。

また、竪穴住居では、囲炉裏を囲んで3世代の家族が暮らしていたことを考えると、核家族化が進んだいまの家族の形態の危うさを感じます。家族全員が集まる場所



に火があって、明るさ、暖かさをもたらす。現代では、これに代わるものがいまだに見つからないのではないのでしょうか。

興味深く聞いたのは、吉川区尾神の岩戸に関連して、岩戸の東側にある「さざれ石」は「はらみ石」であり、石の中で石が生まれたもの。岩戸と「さざれ石」はリンクしていて、意味があるのではないかと指摘です。もう少し詳しく聴きたいと思いました。

講演では初めて聴くことが多く、とても勉強になりました。

ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	12月3日(水)	12月10日(水)
上越消防署	0.050	0.053
上越南消防署	0.047	0.047
新井消防署	0.047	0.053
頸北消防署	0.050	0.053
頸南消防署	0.060	0.067
東頸消防署	0.047	0.057
名立分遣所	0.047	0.060
高士分遣所	0.053	0.057